



第 1492 回例会報告

平成29年2月8日(木)雪

会長挨拶

会長 河西達雄

与えて生きる喜び

ロータリーの友2月号はお読みいただけただし
ようか。私もほとんど読んでいなかったのですが、
会長挨拶のネタ探しにずいぶんと読むようになり
ました。

今月号の冒頭に曹洞宗の酒井大岳という方が
国際ロータリー第2570地区の地区大会・地区指
導者育成セミナーでお話いただいた講演記録
が載っています。「金子みすずの詩より」と書かれ
た一文です。詳しくはお読みいただくとしてその
要旨は、

- 第一番目は「善きことをなすこと」
- 第二番目は「果報を求めない」
- 第三番目は「ともに喜ぶ」
- 第四番目は「語るより歩む」

に分かれており、まさにロータリーの精神をお話
しいただいたような内容でした。

特に感銘したのは金子みすずの歌を引用し説
明していたことです。引用されたのは「おはなのた
ましい」という詩で初めて聞きました。

散ったお花のたましいは、
み仏さまの花ぞのに、
ひとつ残らずうまれるの。

だって、お花はやさしくて、
おてんとさまが呼ぶときに、
ぱっとひらいて、ほほえんで、

蝶々にあまい蜜をやり、
人にや匂いをみなくれて、
風がおいでとよぶときに、
やはりすなおについてゆき、

なきがらさえも、ままごとの、
御飯になってくれるから

しかし金子みすずと言えば
「大漁」

朝焼け小焼けだ大漁だ
オオバいわしの大漁だ

浜は祭りのようだけど
海の中では何万の
いわしの弔いするだろう

そして「世界で一つの花」を彷彿とさせる「わたしと
小鳥と鈴」でしょうか

わたしが両手を広げても
お空はちっとも飛べないが

飛べる小鳥はわたしのように
地べたを早くは走れない

わたしが体をゆすっても
きれいな音は出ないけれど
あの鳴る鈴はわたしのように
たくさんな歌は知らないよ
鈴と小鳥と それからわたし
みんな違って みんないい

ロータリーの友を読みましょう

■出席報告

会員数 37名
出席対象 36名
出席者数 29名
出席率 80.6%
前回修正 97.3%

■ニコニコBOX

2名 4,000円
累計 358,300円
目標額 60万円
達成率 59.7%

■今週のことば

遅くなりまことに申し訳ございませんが、31期事業報告
書の出稿を本日行いました。あとはアドプリント尾上社
長に頼るのみです

御子柴文夫・西澤賢二



◇幹事報告◇

【報告事項】

糸魚川大規模火災につきまして、多くの義援金をお送りいただきありがとうございました。
RI2560 地区よりお礼状が届きましたので、ご報告申し上げます。ということで礼状が来ました

【連絡事項】

- 1 美しい環境づくり諏訪地域推進会議 美しい環境づくり諏訪地域推進会議 美しい環境づくり諏訪地域推進会議から「ニホンジカ食害対策報告会」の開催について案内が来ました回覧します
- 2 2017-2018 年度版ロータリー手帳予約受付の案内が来ました。ご入用の方は、欄外にお名前をご記入ください。

【受領文書】

- 1 第2ゾーンロータリーニュースが届いています。回覧します。
- 2 飯田ロータリークラブより、60周年記念誌が届きました。回覧します

第 1492 回例会

諏訪湖浄化の活動の歴史

担当 社会奉仕委員会

本日は社会奉仕委員会による、諏訪湖ロータリーの諏訪湖浄化運動の歴史をまとめた発表でした。
長崎院長の労作による資料が提示されました。継続事業の検討と今後を展望する素晴らしいまとめでした。
広報用に資料をいただきましたが、今週多忙でまとめることができませんでした。大変良い資料でしたので近日中にダイジェスト版にして配布いたします。

諏訪湖ロータリークラブ
諏訪湖浄化30年余の歩み

重点事業3、
社会奉仕事業の継続的実施と
他の奉仕との連携を見据えた
将来像の構築

2016-17
社会奉仕委員会

個人で出来ること・家庭で出来ること

| 個人で出来ること | 家庭で出来ること |
|--|---|
| a.ゴミを捨てない。道でも、川でも、湖でも、野でも、そして山でも b.ゴミを拾おう。町の中も家の中。いつもさわやかな街にしたいものです。街がきれいになれば、湖もきれいになります。 c.湖を散歩コースに入れてください。みんなが湖に関心を持てば、湖は汚れないものです。 d.釣り、ボート、ヨット、カヌー、探鳥会、水辺に親しむスポーツやレクリエーションに参加してください。 | a.台所で：廃油を流さない。野菜くずなどの四角筒を流さない。洗濯：粉石鹸を使いましょう。 b.風呂桶浄化槽も有効です。沈殿したものの除去などの手入れが重要です。 c.下水道使える所はさっそく接続してください。ただし、下水道につながらないからといってなんでも流してよいというわけではありません。環境をよくするには、洗濯は粉石鹸を使うなどの環境を守ろうとする各自の意識が大切です。 d.子供たちと水辺の自然を観察することも湖の浄化に役に立つことです。観水、知水といえます。 |

グループで出来ること・企業・事業者が出来ること

| グループで出来ること | 企業・事業者が出来ること |
|--|---|
| a.河川清掃、湖畔清掃。もうやっていることですが、続けることが大切です。きれいなところは汚れにくいものです。 b.スポーツクラブや倶楽部、水泳クラブ、ヨットクラブ、サイクリングクラブやトンボやセゴの観察で湖に関心を持つのは湖浄化の第一歩です。 c.湖遊歩会、湖の浄化協議会などによって広域的な対処も必要です。湖に水でつながっている地域全体の協力が湖の浄化には欠かせません。 | a.廃水・ごみ処理の徹底 b.事故の防止 c.無害な廃水なら早期に下水道に接続 d.お客様への諏訪湖浄化キャンペーン |

行政がしなくてはならないこと
教育で出来ること

| 行政がしなくてはならないこと | 教育で出来ること |
|---|--|
| a.諏訪湖浄化の面から既存計画の見直し。市町村レベル、県レベル、国レベルそれぞれに緊密な連携が重要です。 b.河川、湖沼の水質の監視。 c.湖岸の浄化運動の進捗、調整。時には組織上の援助も必要でしょう。 d.行政レベルでの浄化行動。湖内のゴミ回収船の保有。河川清掃、湖畔清掃時のゴミの収集、処理。 e.湖畔公園の整備。 f.諏訪湖浄化キャンペーン。粉石鹸使用の呼びかけ、下水道早期接続の呼びかけなど。 g.社会教育活動。環境浄化講座の開設。 h.水辺の再生計画の実施。（住民の意見を生かして） | a.河川、湖畔を利用した自然野外教育。 b.河川清掃、湖畔清掃を通しての実践的な社会教育。人間の行動などの生理学的な面も含めると研究、教育的なテーマとなる。 c.郷土の自然と歴史、地域社会の特性の理解に役立てる。郷土を育てていく創造的な意識を生むことが未来の地域の正常な発展には必要であり、現在の教育の課題でもあります。 |

内部勉強会 諏訪湖RCの諏訪湖浄化活動方針

| ロータリアンとして | ロータリークラブとして |
|---|---|
| ①ロータリアンの諏訪湖浄化意識の高揚を図る ②個人・家庭でできる浄化活動の会員への啓蒙・普及、活動の実践指導 ③ロータリアンの企業が企業ぐるみで、環境問題に取り組み、実践する | ①浄化のための諸活動の組織的運動は、他の先行する浄化運動体への積極的参加、援助する。（巻き込まれる） ②諏訪湖区6クラブの浄化連絡協議会で活動する ③諏訪湖区への諏訪湖浄化基金の設立提案する ④ロータリー関係の上部団体への自然環境保全・浄化基金設立を提案する。 ⑤大津中央RCとの連絡協議、情報交換をする。 |

下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会参加
1990年～2016年

| | | | | | |
|---------|---------------|-------|--------|-------|---|
| 1980年設立 | 下諏訪青年会議所 | 消費者の会 | 婦人会 | 衛生自治会 | 他 |
| 1981年 | 60団体 | | | | |
| 1990年 | 諏訪湖ロータリークラブ参加 | | 理事となる。 | | |
| 2016年 | 76団体 | | | | |



湖岸清掃



クリーン祭り参加